

芋とは思えない!?新たな香りの芋焼酎!

支援の経緯

多様な特徴の芋焼酎が製造販売される中で、県内企業から「これまでにない個性的な芋焼酎を造りたい」という相談がありました。当センターが持つ芋焼酎の製造技術を使い、新たな香りや味わいを持つ「香り系焼酎」の開発を支援。両者が協力して研究開発を進めた結果、企業が確立した低温発酵技術と、当センターが開発した芋焼酎の香り成分を高める技術を組み合わせ、リンゴのようなフルーティーな香りを持つ焼酎を製造することができました。

企業担当者の声

最適な製造条件を提案いただき、当社だけでは難しかったフルーティーな香りと味わいを持つ芋焼酎を商品化することができました!今後もご支援いただきながら、新たな商品開発を行ってまいります。

リンゴのような
香りを有する
芋焼酎



シラスのコンクリート用材料で二酸化炭素を削減!

支援の経緯

これまで地元企業と一緒に、火山噴出物のシラスを使った洗顔料や瓦、鹿児島市電の軌道敷に使用される緑化基盤など、多くの製品を生み出してきました。最近では、シラスを大きさに砂や軽石、火山ガラス質などに分離する技術を開発。また、コンクリートの材料に活用できる火山ガラス微粉末(VGP)の開発に成功。コンクリートに使用されるセメントは、製造時に多くのCO₂を排出しますが、VGPはCO₂排出量がセメント製造時の10分の1ととても少なく、セメントの一部をVGPに置き換えた低炭素型コンクリートを製造、利用することで、土木・インフラ業界の脱炭素化が期待されています。

企業担当者の声

分離したシラスの砂や軽石などは目的に応じて、土木、建築、窯業など幅広い分野で利用できます。本県に大量に眠るシラスを活用して、地域経済を活性化できるよう研究開発を進めています。

モデル工事に
使った歩車道境界
ブロック



一気通貫!データ作成から検査まで

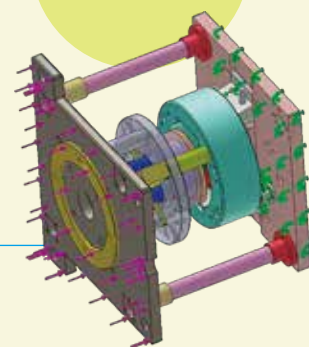
支援の経緯

近年、企業がデジタル技術を活用して、新しいビジネス環境に対応するDX(デジタルトランスフォーメーション)が推奨されています。そこで、県内ものづくり企業を対象に、DXを推進する研究会を設立し、DX導入事例や最新デジタル技術などを紹介するセミナーを開催しています。そのほか、ものづくりのDX化に必要な機器を導入し、県内企業にご活用いただいています。

企業担当者の声

導入された設計・解析システムなどを利用し、一貫してデータ作成から検査までを行いました。今後も積極的に活用していきたいです!

設計・解析システム
(金型の強度解析)



取り組みなど広く知っていただくため
見学も受け付けております(要予約)。



見学申込み



ホームページ



▲ 工業技術センター(霧島市隼人町小田1445-1)



▲ 旧庁舎(昭和4年当時、原良町)

100年を超える
縁の下の力持ち
鹿児島県工業技術センターは、県内企業を支援する「技術の拠りどころ」として前身である工業試験場が大正12年に設立されて以来、時代のニーズに応じた研究や企業への技術支援を行ってきました。昭和62年12月には、現センターとして設立され、現在、庶務部、企画支援部、食品・化学部、生産技術部、地域資源部、シラス研究開発室の5部1室体制で、技術相談・指導、依頼試験分析などの技術支援およびものづくり基盤技術の高度化や地域資源の付加価値創造などの研究開発を通して、県内企業の技術開発・技術力向上の支援に取り組んでいます。



分析・試験

分析・試験など約120項目

各種の工業材料、原材料、製品などについて、各種の試験、検査、分析、測定などを行い、その結果を成績書として交付しています。



設備・機器の貸出

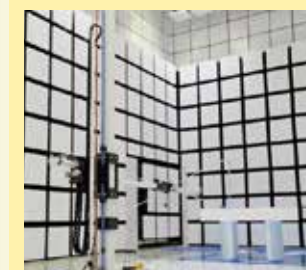
設備・機器など約140種類

時代の技術ニーズに応じた最新鋭の機器を始め、さまざまな分野の試験機器を取りそろえて、新商品開発や品質管理などにご活用いただいています。



工業技術の相談

県内企業の皆さまからさまざまな技術的な相談を受けています。



電子機器などの電磁波に関する試験を行う設備

大正時代からの「県内企業の技術の拠りどころ」 鹿児島県工業技術センター